

多人数チャットにおけるグループに対する印象形成

1132105 竹村 和浩

指導教員：山崎治 准教授

1. はじめに

近年、コンピュータやスマートフォンの普及により、CMC (Computer Mediated Communication) が主要なコミュニケーションの形式となっている。特に、グループチャットや SNS 上での TL (タイムライン) 式のメッセージなど、同期的なメディアでかつ複数人が関わる CMC が増えつつある。このようなグループチャットに新しいメンバが参加する際、既存のグループメンバの会話を手掛かりにしてグループ全体の雰囲気を読み、発言のきっかけを得ていく。このとき、それまでの会話に加わっていない第三者からみて「何」を手掛かりとしてグループ全体の雰囲気を掴んでいるのかを調べることは、メンバのグループへの積極的な参加を促すという観点から重要だと考えられる。

2. 目的

グループチャットにおいて、グループ全体の雰囲気の把握にどのような要因が影響するのか明らかにする。ここでは要因の一つとして、グループを構成する特定メンバの発言を取り上げ、グループ全体の雰囲気に与える影響について調べる。

3. 実験

実験では、ある特定の個人に注目させた場合、グループ全体への印象に影響があるかを明らかにする。

3.1 方法

実験参加者： 本学情報科学部情報ネットワーク学科 1 年生 97 名 (男性 86 名 / 女性 11 名)

実験計画： 注目させるメンバの人格特性を要因として、内向群 / 外向群 / 統制 (注目なし) 群の 3 つの群を設けた 1 要因 3 水準参加者間計画で実験を実施した。

材料： 「内向性・外向性の評価用紙」、「チャットグループに対する印象評価の質問紙」、「本実験用チャットログ」を用いた。「内向性・外向性の評価用紙」は、チャットログの中で特定メンバの発言に注目させることを目的として使用した。「チャットグループに対する印象評価の質問紙」は 3 因子 (活発度、関係性、誠実さ) の対義語からなる形容詞対 15 項目で構成され、7 段階評価の SD 法を用いた質問紙である。この質問紙は水上他(2008)がグループディスカッションのグループを印象評価する際、使用したものを抜粋し、利用した。「本実験用チャットログ」はメンバ 6 人からなるグループチャットログである。チャットログは分析対象となるログと統制群用のダミー課題となるログの 2 つを用意した。

手続き： 実験参加者を 3 グループに分け、Web ページにてアンケートに回答させた。予備調査の結果から、本実験で分析対象となるログにおいて、外向性が高いと評価されたメンバと低いと評価されたメンバを特定した。外向群、内向群にはそれぞれ外向性

が高い / 低いメンバの発言のみに注目してもらい、該当するメンバの印象を評価させた。その間、統制群には実験時間の配分を均等にするためのダミー課題用のログを提示し、グループ全体の印象を評価させた。外向群、内向群が個人への印象評価の実験と統制群のダミー課題が終了したあと、3 グループとも分析対象のログを参照し、チャットグループ全体の印象評価をさせた。

3.2 結果

有効回答数は 84 名となった。質問項目の形容詞毎に一要因分散分析を行ったところ、「明るい」と「動きのある」にて有意な差が確認された (「明るい」 $F(2, 80) = 3.99, p = .02$, 編 $\eta^2 = .09$ 、「動きのある」 $F(2, 80) = 3.29, p = .04$, 編 $\eta^2 = .08$)。以下の図に「明るい」と「動きのある」の評価のグラフを示す。

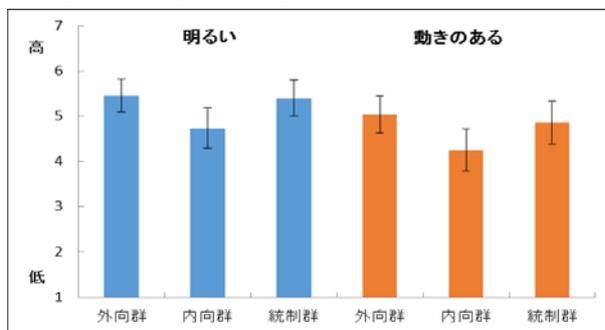


図1 「明るい」と「動きのある」の評価

また、多重比較を行ったところ外向群と内向群間に 5% の水準で優位な差が認められた。この結果から、外向群と比較して内向群では、「明るい」「動きのある」という印象を感じにくくなっていたことが明らかとなった。すなわち、このグループに対して新規メンバとして入る際に入りづらいという印象を抱く結果となった。

4. まとめ

ある特定の個人に注目させることで、グループ全体の印象に影響があることが明らかとなった。

今回の実験にて、因子ごとの分散分析では有意差が生じなかったため、質問項目の形容詞ごとに分散分析を行ったところ、有意差が認められた。注目させる人格特性を外向性・内向性以外にすることで形容詞レベルでなく有意な差が認められることが考えられる。

参考文献

水上悦雄・森本郁代・鈴木佳奈・大塚裕子・竹内和広・東新順一・奥村学・柏岡秀紀 2008 話し合いにおけるコミュニケーションプロセスの評価法について 言語処理学会第 14 回年次大会 発表論文集